

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書様式】(中学校用)

都道府県名	静岡県
-------	-----

学校の概要 (平成15年4月現在)

学校名	榛原町立榛原中学校					
学年	1年	2年	3年	特殊学級	計	教員数
学級数	7	7	7	1	22	40
生徒数	245	256	280	4	785	

研究の概要

1 研究主題

<p><b>主体的に学ぶ生徒の育成</b> ～確かな学力の向上を目指して～</p>
---

2 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2 学年数学 (習熟の程度に差が出やすい教科・学年であり、当該教科に関する研究実績がある)</li> <li>・ 全学年全教科 (基礎基本の定着や個性伸長のために、個に応じた指導法の工夫や教材の開発を行う)</li> <li>・ 2, 3 学年選択教科 (興味や関心, 習熟の程度に応じるために、複数コースを設定)</li> </ul>
---

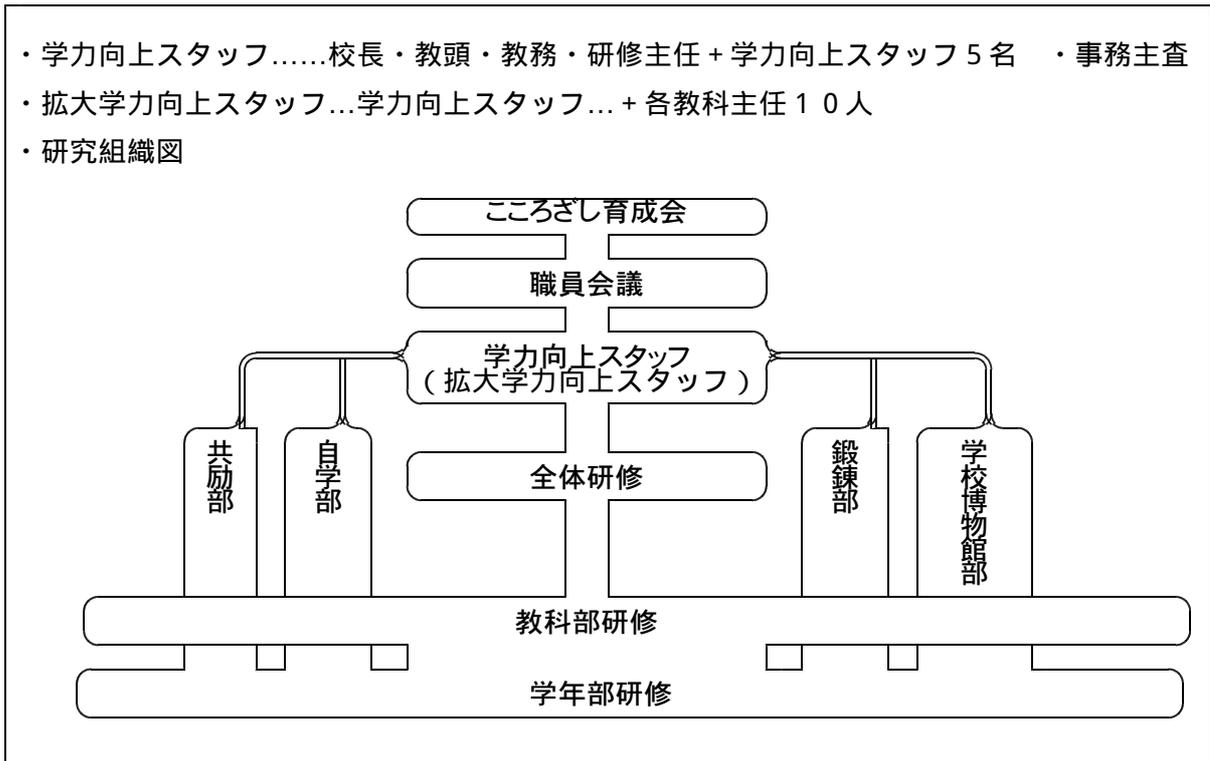
(2) 年次ごとの計画

平成14年度	<p>テーマ 主体的に学ぶ生徒の育成 ～「確かな学力」の向上をめざして～</p> <p>仮説 「学力のおさえ」「実践のための具体的な方策」を明確にして、授業実践を行うことにより、「学力の向上」が図られる。</p> <p>研究内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2年生数学の少人数指導における授業実践と「学力」と「学力向上のための具体的な方策」の見直し</li> <li>・ 各教科における「学力」と「学力向上のための具体的な方策」の明確化と実践</li> <li>・ 各教科の年間計画の作成</li> <li>・ 成果の定量的な検証のための調査など</li> <li>・ 選択教科における興味関心や習熟度に応じた指導</li> <li>・ 継続的読書指導による読解力の育成</li> <li>・ 学校外の専門家や地域の方による指導, 支援</li> <li>・ ガイダンス機能の充実による個への手厚い対応</li> </ul>
--------	---

<p>平成 15 年度</p>	<p>テーマ 主体的に学ぶ生徒の育成 ～ 「確かな学力」の向上をめざして ～ 研究の見通し</p> <p>「学力のおさえ」「実践のための具体的な方策」を実践を通して確認する中で教科の特性や生徒の表れを照らし合わせた中で方向性を再検討をし、授業実践を行うことにより、「個に応じた指導」への方策が明確化され「学力の向上」が図られる。</p> <p>研究内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・均等割集団や習熟度別集団に適した指導法や教材の開発</li> <li>・習熟度別学習集団を編成するための資料となる教材の研究</li> <li>・各教科の「学力」と「学力向上のための具体的な方策」の再確認</li> <li>・各教科の「学力」と「学力向上のための具体的な方策」にそった指導法の工夫や教材の開発</li> <li>・選択教科における多様なコース開設による興味関心や習熟度に応じたきめ細かな指導</li> <li>・継続的読書指導による読解力や表現力の育成</li> <li>・「学力向上フロンティア校」として実践発表は、体育館耐震工事等の施設面で困難であったため平成16年度に変更。年度の実践を紙上発表。</li> </ul>
-------------------------	---

<p>平成 16 年度</p>	<p>テーマ 主体的に学ぶ生徒の育成 ～ 「確かな学力」の向上をめざして ～ 研究の見通し</p> <p>「学力」の押さえを再確認し、それに沿った学習集団に合った指導法や教材開発をすることにより、「個に応じた手厚い指導」がなされ「学力の向上」に有効に働く。学習集団に適した評価を工夫することにより、指導法の工夫がなされ、「学力の向上」が図られる。</p> <p>研究の方法・内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒教師の学習アンケートをもとに「学力」と「学力向上のための具体的な方策」の確認修正。</li> <li>・各教科の「学力」と「学力向上のための具体的な方策」にそった指導法の工夫や教材の開発および授業研修</li> <li>・各教科における「個に応じた指導」の工夫</li> <li>・授業の中での評価を生かす工夫</li> <li>・異なる習熟度の学習集団の評価の整合性</li> <li>・選択教科における多様なコース開設による興味関心や習熟度に応じたきめ細かな指導</li> <li>・継続的読書指導による読解力や表現力の育成</li> </ul>
-------------------------	---

(3) 研究推進体制



平成 15 年度の研究の成果および今後の課題

**成果**

- ・ 選択教科における習熟度別学習  
 英語の選択授業を基礎と応用に分けて生徒を募集し、それぞれのテーマに沿った学習を行った。基礎コースでは、英語の基礎力アップのために各自で課題を設定し、ガイダンスをしながらそれぞれの学習を行った。[事前テスト 37.3] [事後テスト 42.3]
- ・ 授業案の中に個に応じた表記を加えた。
- ・ 2 年数学における「連立方程式」の習熟度別学習実施前後の定着度調査(6 点満点)の正答得点の変化  
 [発展コース 5.38 点 5.53 点] [習熟コース 3.2 点 4.4 点] [補充コース 1.62 点 2.54 点]
- ・ 2 年数学における「図形領域」での習熟度別学習実施前後の定着度調査の正答率の変化  
 [発展コース 28% 69.4%] [習熟コース 27.3% 81.8%] [補充コース 3.3% 81.7%]
- ・ 単元の中で、均等割集団と習熟度別集団に編成をかえた学習が可能である。  
 『習熟度別学習実施によって学力が向上した』と思う生徒 [発展コース 83.9%] [習熟コース 81.3%] [補充コース 77.7%]
- ・ 習熟度別学習を実践するために、つきたい力を明確に設定し、それに合った教材や指導法の研究を深く行う。
- ・ 学習アンケートによる教師と生徒の意識調査をし、来年度への指針とした。

**課題**

- ・ 学力向上の検証の仕方
- ・ 学習集団と生活集団の違いによる指導の難しさ
- ・ 少人数学習における教員の学年配置

## 学力把握のための学校の取り組みについて

- ・ 定期的な学力調査の実施（年４回）
- ・ 単元ごとに行う均等集団学習と習熟度別学習におけるそれぞれの定着度調査
- ・ チャレンジテスト

## フロンティアスクールとしての成果の普及について

- ・ 研究会……………日時；平成１６年１１月１２日（金） 午後  
テーマ；主体的に学ぶ生徒の育成 ～「確かな学力」の向上をめざして～  
場所；榛原町立榛原中学校  
対象；榛原郡内教職員，保護者，県内フロンティアスクール職員等
- ・ ＨＰ作成（研究推進計画の掲示）

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。（複数回答可）

- |                      |            |       |            |    |       |
|----------------------|------------|-------|------------|----|-------|
| 【新規校・継続校】            | １５年度からの新規校 | レ     | １４年度からの継続校 |    |       |
| 【学校規模】               | ３学級以下      |       | ４～６学級      |    |       |
|                      | ７～９学級      |       | １０～１２学級    |    |       |
|                      | １３～１５学級    | レ     | １６学級以上     |    |       |
| 【指導体制】               | レ          | 少人数指導 | T・Tによる指導   |    |       |
|                      |            | その他   |            |    |       |
| 【研究教科】               | 国語         | 社会    | レ          | 数学 | 理科    |
|                      | 外国語        | 音楽    |            | 美術 | 技術・家庭 |
|                      | 保健体育       | その他   |            |    |       |
| 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 | レ          | 有     |            | 無  |       |

URL <http://www.haijhs.haibara.shizuoka.jp/>

E mail [haijhs@haijhs.haibara.shizuoka.jp](mailto:haijhs@haijhs.haibara.shizuoka.jp)